

GWIN 2009 メインシンポジウム (同時通訳付き)
「世界の水問題とナノテクノロジー」

— 水関連技術の最先端状況と課題を知り、ナノテクによるブレークスルーを探る —

平成21年10月2日(水) 10:30 ~ 17:30

けいはんなプラザ 大会議室「ナイル」 参加費: 無料

<http://www.keihanna-plaza.co.jp/02conv/index.html>

- 《主催》 文部科学省委託事業・知的クラスター創成事業「京都環境ナノクラスター」広域化プログラム
 (京都環境ナノセンター)、(財)京都高度技術研究所(京都環境ナノクラスター中核機関)
- 《共催》 京都府、京都市、関西経済連合会、関西文化学術研究都市推進機構、京都大学大学院工学研究科、
 京都大学G-COE「アジアメガシティの人間安全保障工学拠点」
- 《後援》 近畿経済産業局、科学技術振興機構JSTイノベーションプラザ京都、京都商工会議所、京都工業会、
 京都産学公連携機構、京都産業21、京都産業エコ推進機構、日本ベンチャー学会、関西ベンチャー学会、
 日本経済新聞大阪本社、京都新聞社、日経エコロジー、日経BP環境経営フォーラム、
 ナノテクノロジービジネス推進協議会(NBCI)、駐大阪・神戸米国総領事館

(法人格省略)

10:30 - 11:00	主催者挨拶 開催趣旨説明 松重和美(京都環境ナノクラスター広域化プログラムディレクター・京都)
11:00 - 12:00	基調講演 水危機とその革新的解決への期待 浅野 孝(カリフォルニア大学デーヴィス校名誉教授)
12:00 - 13:00	昼食と展示
13:00 - 15:20	講演
13:00-13:30	水供給に必要とされる新技術 Michael P. Wehner(カリフォルニア州オレンジ郡水道局副局長)
13:30-14:00	水処理における技術革新—ナノテクとの技術融合を中心に 阿部 晃一(東レ(株)常務取締役 水処理・環境事業本部長)
14:00-14:20	セラミック膜ろ過システムの上下水分野への適用 青木 伸浩(メタウォーター(株)開発センター先端水システム開発部膜開発グループマネージャー)
14:20-14:40	超純水製造および分析評価技術の現状と今後の課題 北見 勝信(栗田工業(株)開発本部装置開発第一グループ第一チーム チームリーダー)
14:40-15:00	世界の水質計測の課題と その解決提案 小林 剛士(株堀場製作所 海外本部海外営業部環境・プロセスチーム チームリーダー)
15:00-15:20	高出力深紫外半導体光源の開発と新しい水浄化システムの提案 青柳 克信(立命館大学グローバル・イノベーション研究機構特別招聘教授)
15:20 - 15:40	休憩
15:40 - 17:20	講演
15:40-16:10	人為要因による新しい水汚染の状況 松井三郎(京都大学名誉教授・松井三郎環境設計事務所代表)
16:10-16:40	上水の検査、分離、処理方法のためのナノテクノロジーを可能にする材料科学の進歩 Mark A. Shannon(イリノイ大学アーバナ・シャンパン校教授、NSFセンターPWaterCAMPWS所長)
16:40-17:00	ナノ鉄複合粒子による土壌・地下水浄化 松井 敏樹(戸田工業(株)創造本部 機能性材料開発グループ課長)
17:00-17:20	アニオン類を除去・回収するオキシ水酸化鉄ナノ構造材 前 一廣(京都大学大学院工学研究科教授)
17:20 - 17:30	まとめと閉会 今田 哲(京都環境ナノクラスター 広域化プログラムオフィサー)